

「世界を変えるデザイン展 ～Imagine another life through the products～」開催のお知らせ

世界を変えるデザイン展実行委員会（所在地：東京都目黒区、実行委員長：本村拓人）と、特定非営利活動法人CANPANセンター（*注1）（所在地：東京都港区、代表者：今 義男）は、2010年5月15日から6月13日の間、BOP（Base of the Pyramid）（*注2）への取組やその意義をデザインの視点から日本で初めて紹介する「世界を変えるデザイン展～Imagine another life through the products～」を東京ミッドタウン・デザインハブとアクシスギャラリーの2会場において開催いたします。

先進国におけるデザインは、世界総人口のほんの10%程度を対象にしているに過ぎません。これからのデザインの使命は、世界総人口の約70%を占めるといわれる途上国における貧困層の人々の生活向上のためにも果たされるべきであると考えます。

「デザインは、人間の本当の要求にこたえるような道具となるのでなければならない。それは、革新的で高度に創造的な、そしてもろもろの分野を貫いたものとなるのでなければならない。それは、いっそう強く研究をめざすものでなければならない。そして、われわれは、デザインのまずい品物や構造物で地球そのものを汚すのをやめなければならない。」『生きのびるためのデザイン』ヴィクター・パパネック著

東京ミッドタウン・デザインハブでは、現地の人々の生活を向上させ、ビジネスモデルとして実績をおさめているプロダクトを展示、アクシスギャラリーでは、大学や団体による取組を含め成功事例のプロセスや背景、進行中のプロジェクトも併せて紹介する予定です。

つきましては今後のデザインの大きな方向性と可能性を示唆する本展をぜひ貴媒体にてご紹介いただけますようお願い申し上げます。

なお、会期中、海外より研究者などを招聘し、カンファレンスやワークショップを開催予定です。
詳細は、<http://exhibition.bop-design.com/> まで。

*注1：CANPANセンターとは、民(NPO)、産（企業）、学（学術団体）の活動を支援し、三者の連携を促進することにより民間主体のより豊かな社会づくりに貢献する特定非営利活動法人。

*注2：BOPとは、「所得別人口構成のピラミッドの底辺層を指す。世界人口の約7割に相当する約40億人が、年間所得3000ドル未満の収入で生活しており、その市場規模は5兆ドルに上ると言われる。BOPビジネスとは、企業が途上国においてBOP層を対象にビジネスを行いながら、生活改善を達成する取組のことである。慈善事業ではなく、持続可能性のある本業のビジネスとして行う点において、CSR活動をさらに発展させたものと言える。」（経済産業省ウェブサイトより）

世界を変えるデザイン展実行委員会

-
- 展覧会名称：「世界を変えるデザイン展～Imagine another life through the products～」
 - 入場料：無 料
 - 主 催：世界を変えるデザイン展実行委員会、特定非営利活動法人CANPANセンター
 - 会場と会期（2会場の会期は異なります）：
 - 東京ミッドタウン・デザインハブ（港区赤坂）
5月15日（土）～6月13日（日） 11:00 - 19:00
共催：東京ミッドタウン・デザインハブ
 - アクシスギャラリー（港区六本木）
5月28日（金）～6月13日（日） 11:00-19:00（最終日は17:00まで）
共催：アクシスギャラリー
 - 運 営：株式会社Granma／協 力：英治出版株式会社 他
 - 後 援：アメリカ合衆国大使館、JICA 他
 - 会場デザイン：芦沢啓治／グラフィックデザイン：中野豪雄
 - 読者お問い合わせ先（株式会社Granma内）：Tel.:03-3793-7210
E-mail:sekai_design@granma-port.jp、<http://exhibition.bop-design.com/>

■本件に関するお問い合わせ：小堤音彦(世界を変えるデザイン展実行委員会)
東京都目黒区中目黒1-1-3（株式会社Granma内）Tel.&Fax:03-3793-7210、
E-mail:sekai_design@granma-port.jp <http://exhibition.bop-design.com/>
Twitter：http://twitter.com/sekai_design

主な展示作品（予定）

*写真については、参考写真です。

2会場併せた展示プロダクトの合計は、約50点を予定しています。



Water supply in slums: P.I.P.A. system
水の供給システム(ブラジル)。デルフト工科大学(オランダ)によるプロジェクト。



Philips My reading Light (energy):
Solar Energy+LEDの宿題専用ライトで
夜も読み書きができる。
(アフリカ)



XO3:
One Laptop per Childプロジェクトの次世代PC。
タッチスクリーンの薄型タブレット。2012年発売予定。
75ドル(予定)

主な展示作品（予定）

*写真については、参考写真です。



SpaceSafe:

日々の生命の危険から守るため人口衛星から監視する難民用テント。安全な場所を提供し、個人としての人権を守る。

CHULHA:
無煙ストーブ
(インド))

Dream ball:

難民生活や貧困のためにサッカーボールを買えない子供たち用のサッカーボール。パッケージを切り離したパーツをボール状に組み立てる。紙製。
(タンザニア、ルワンダ、ブルンジ、ソマリア、コンゴなど)



LIFESAVER Bottle/jerrycan:

バクテリアやウイルスを取り除き浄水する。

主な展示作品（予定）

*写真については、参考写真です。



LifeStraw:

チフス、コレラ、赤痢や下痢等の水の媒介する病気の予防

(ガーナ、ナイジェリア、パキスタン、ウガンダ)



Qdrum:

女性や子どもでも楽に水を運べる。

(ケニア、南アフリカなどのアフリカ地域)



Solar Aid:

ソーラー充電の補聴器で、勉強や経済活動への持続的な参加が可能になる。

(アフリカ南部、アメリカ、イギリス、フランスなど)